



常澄中学校だより

# 「常に澄む」

令和6年4月17日

No. 1

「常に正しかれ」「常に豊かなれ」「常に気高かれ」

## 令和6年度が始まりました!!



4月8日(月)、令和6年度の始業式を迎えました。朝登校して、まずは新学級の発表。新2年生・3年生とも、真剣に自分の名前、そしてクラスメートの確認をしていました。笑顔いっぱいハイタッチをする姿も見られました。縁あって同じクラスになったメンバーです。新たな人間関係を築き、楽しい学校生活を送って欲しいと思っています。

そして4月10日(水)、第67回入学式を満開の桜のもと、開催できました。前日は荒天のため、入学式のための会場作成や環境美化(清掃)に苦労しましたが、3年生・2年生が一生涯懸命活動して

くれたおかげで、無事に当日を迎えることができました。

1年生101名、2年生111名、3年生101名、計313名で令和6年度がスタートできました。昨年度までの自分とは一味違う自分。イメージチェンジをすることができる絶好の機会です。より良い自分を目指して、今年1年、失敗を恐れずたくさんのことに挑戦をし、そこからたくさんの事を学び、大きく成長してくれることを願っております。

以下は、始業式での第2・3学年代表による発表です。



※原文のまま掲載いたします。

### ☆田山 陽菜さん(2年2組)

私が二年で頑張りたいことは、勉強、部活、行事の三つです。

まず、勉強面では一年生よりも学習内容が難しくなるので、毎日の授業をしっかり受け、予習復習を大事にして、去年よりもテストの成績を上げられるように取り組んでいきたいです。そして、苦手な教科を少しずつ克服していき、高校受験を意識しながら学習に取り組んでいきたいです。

二つ目は部活動です。私はソフトボール部に所属しています。ソフトボール部は、三年生三人、二年生二人、計五人で活動しています。人数がそろわず単独チームでは試合ができないため、水戸三中と合同チームを組んでいます。練習の成果が実り、昨年はいいい成績を残すことができました。日々の部活動では、人数が少なく思い通りの練習ができませんが、六月の総体に向けて先輩達の悔いが残らないよう、日々の練習を大切にしていきたいです。そして、もうすぐ新一年生が入部してくるので先輩として自分が教わってきたことを今度は新一年生に色々教えていきたいです。三年生が引退した後は、私たちが部活をまとめられるようにしていかなければならないのでしっかりまとめられるようにしたいです。

三つ目は行事を楽しみたいです。二年生は久しぶりの船中泊が予定されています。北海道へ行くことは初めてなのでとても楽しみです。他にも体育祭や合唱コンクールと楽しい行事がたくさんあります。学年全員でしっかり準備をして、思い出に残る行事にしていきたいです。

二年生になったからといって、中だるみせず、中堅学年として役割を自覚して自主的に活動していきたいです。

## ☆關 健汰さん（3年1組）

春休みが終わり、僕たち三年生は中学校生活最後の一年となりました。僕はこの一年を充実したものにしたいと思っています。そのためにまず、部活動に力を入れたいです。僕は男子バスケットボール部に所属しています。新人戦ではあと一步の所で中央地区大会進出を逃してしまいました。このくやしさをバネに総体では中央地区大会進出という一つの目標に向かい、仲間と切磋琢磨しながら、一回一回の練習に全力で取り組んでいきたいです。

もう一つは受験勉強に力を入れたいです。三年生となり、それぞれの夢を叶えるためにとても大切な高校入試が少しずつ近づいています。僕は将来後悔しないために、志望校合格を目指し、自主学習の質を高め、苦手強化は整理と対策や過去問を活用し、克服できるようにしていきたいです。また、頑張るという気持ちだけで終わらせず、きちんと行動に移せるようにしていきたいです。

充実した学校生活を送るには努力する事以外にも、楽しむ事が大切だと思うので、修学旅行や体育祭などの学校行事を全力で楽しみたいです。

また、僕は常澄中学校に入学してから、三年生になるまでがとても速いと感じています。きっとこの一年もあっという間に過ぎてしまうと思います。だからこそ、残り少ない中学校生活の一日一日を大切に生活していきたいです。

代表の二人の発表の内容、いかがでしたでしょうか。おそらく、共感できた人は多かったと思います。一人一人が1年後の自分の成長した姿を想像し、それを目標として学校生活を送って欲しいと思います。

笑顔いっぱいの常澄中学校で、「やる気」「元気」「本気」の3つの気をもって一年間生活していきましょう。

### 【ちょっといい話】

これは、朝の駐輪場の光景です。黄色い目印の線に合わせスタンドを立て、整然と自転車が並べられています。3学年とも同じ光景がここにはありました。これって、大変素晴らしいことだと思いませんか。

こんなことが自然とできる常中生、校長として自慢です。

